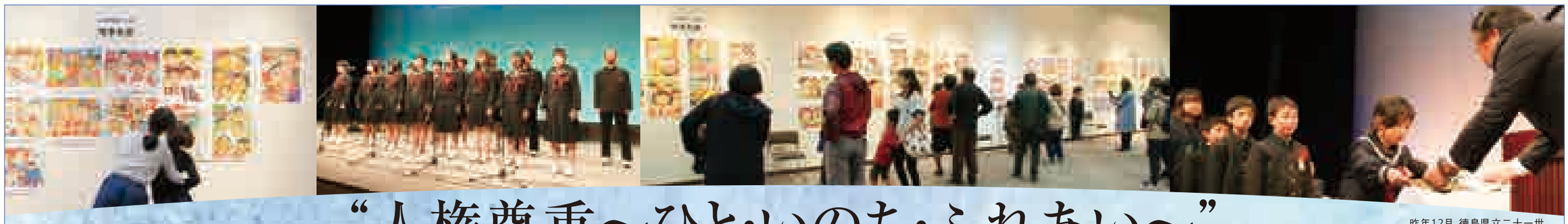


昨年12月、徳島県立二十一世紀館において表彰式および発表会・展示会が行われました。

“人権尊重～ひと・いのち・ふれあい～”

平成30年度「人権に関する児童生徒の作品」

徳島の未来を担う子どもたちが「人権」と向き合い、自分なりに考えるきっかけをつくるため、あいぽーと徳島では「人権に関する児童生徒の作品」を毎年県内の児童生徒から募集しています。
意見発表に係る作文、作詩作曲作品、標語ポスターの3部門に、61,443点という数多くの応募があった中から、**知事賞を受賞した作品及び各賞受賞者名**を紹介します。

主催／徳島県・徳島県教育委員会・徳島県立人権教育啓発推進センター（あいぽーと徳島）　後援／徳島県小学校長会／徳島県中学校長会／徳島県高等学校長協会／徳島県人権教育研究協議会

意見発表に係る作文部門　知事賞

「伝えたいこと」

新野中学校　2年　国吉　美海

私の祖父は、沖縄のガマの中で生まれました。戦争中は食べ物がなかったため、てのひらに載るくらいの小さな小さな赤ちゃんでした。このままガマの中では育たないと思った祖父の母親は、自らアメリカ兵の捕虜になってミルクをもらったそうです。この話を聞くまで、私は家族が戦争に関わっているなんて知りませんでした。

戦後、七十三年たったこの夏、日本で最も多くの犠牲者が出た沖縄の地を私ははじめて訪れました。私たちと同じ年頃の女生徒が眠るひめゆりの塔でおいのりをし、たくさんの遺品や写真に戦争の悲惨さを痛感しました。そして、どこまで続くんだと言うほどの暗闇。懐中電灯の灯りがあっても、友達と手を握りあったガマの中。こんなところで曾祖母は祖父を産んだのか。鉄の雨をかいくぐり、絶え間ない爆撃におびえ、子どもの泣き声に怒鳴る兵士の声に身をすくめながら、生まれようとする小さな命を守り抜いたのか。私は、暗闇の中で涙が止まりませんでした。たくさんの命が苦しみながら亡くなったのです。糸数壕の中で語り部さんのお話を聞きながら、わたしは祖父のことを思い出していました。

孫の言うことは何でも聞いてくれる祖父、いつも優しい祖父でしたが、戦争のことだけは何も教えてくれませんでした。沖縄に行く私に祖母がそっと話してくれました。

「ばあちゃんもな。あんまり詳しく聞いてないんやけどな。じいちゃんのお母さんに教えてもらったんよ。戦時中は食べ物がなかっただろ。ほなけん、じいちゃん、この掌くらいのちっちゃい赤ちゃんで生まれたんよ。じいちゃんのお母さんはこのままじゃ、この子が育たんと思ったけん、アメリカ兵の捕虜になったんよ。大きくなってからも、何もしらんけん、ガマの中に転がっている人間の骨をボール代わりにして、よく遊んだらしいわ。何も知らんっていうんもつらいよな。」

私は胸が締め付けられるようでした。祖母の「何も知らんっていうんもつらいよな。」という言葉が頭の中を何度も何度も回りました。なにも知らない方が楽じゃないのか。沖縄に行く前の私にはまだ、その言葉が理解できなかったのです。

ガマの水が顔にあたった。出口の方から一筋の光が見えてきた。こんなに光がありがたいなんて、感じたことはありませんでした。今の私たちにとって、当たり前のことが当たり前ではなかったのです。今回の修学旅行に行くまで、戦争は遠い昔の、遠い場所で、全く関係のない人が犠牲になった悲劇だと思っていました。

「何も知らない」ということは、相手の気持ちがわからないということです。人の心を思いやれないのです。悔しいことです。沖縄の人たちの穏やかな幸せが不合理に奪われたということ、たくさんの命が犠牲になったということ、今の平和な暮らしが、自分達の命がどれほど尊いものかということ、身をもって私は「知る」ことができました。

「命どぅ宝」ガマから出るとき、語り部さんが私たちの心に残してくれた言葉。沖縄の方言で、「命こそ宝」という意味です。過酷で残虐な戦争を乗り越えたからこそ、この言葉が重く私たちの心に伝わったのだと思います。

しかし、平和な世の中に生まれたのにもかかわらず、自ら命を絶ってしまう中学生がいるのも現実です。大切な家族や友達を残して、命を絶ちたいというのは、それだけの大きな理由があるのかもしれませんが、私にはまだ理解することができません。でも、悩む友の話を聞き、力づけ、命を絶つことだけは絶対にだめだと伝えることはできました。生きたくても生きられない人がいる、命を絶つことは絶対あってはならないのです。

これからこの世の中が平和であるために、私にできることはたくさんあると思います。まずは、どんなことでも事実を正しく知ることです。戦争でどんなことが起こり、どれだけの人が苦しい思いをしたか、いかに命が尊いものかということを。そして、それを伝えていくことです。

祖父は、堅い口を開いて、「絶対に戦争を体験してほしくない。命を大切にして欲しい。」と話してくれました。祖父がいなければ今の私はいません。祖父から受け継いだこの命を大切に、私は平和への思いと命の重みを伝えていこうと思います。

ハンセン病との出会いとこれから

池田高等学校　3年　平野　いち花

皆さんはハンセン病という病気を知っていますか。らい菌に感染することで発症する感染症のひとつで、運動障害や知覚障害、また顔・手足の皮膚のただれや変形という症状を引き起こす病気です。しかし、感染力は非常に弱く、すでに治療法も確立しています。日本では昔、この病気はらい病と呼ばれ、医療や病気への知識が乏しく、簡単に感染すると考えられていたため、ハンセン病患者は療養所に強制的に隔離されていました。

これからお話しすることは、実際に私が体験したことです。私は毎年大島青松園で開催されている夏祭りに、阿波踊りを披露するという趣旨で小学生の時に二度参加しました。初めて訪れたのは、小学四年生の時です。フェリーで海を渡り、着いたのは瀬戸内海の小さな島でした。当時十歳だった私は、「なぜこんな小さな島に人が住んでいるのだろう。」など、いくつか不思議に思うことが頭を駆け巡りました。

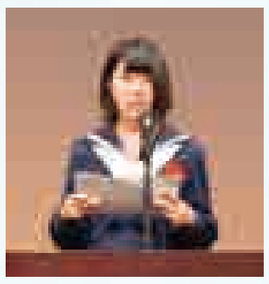
大島青松園には、昔ハンセン病患者の方々が生活していた部屋などを見学できる場所があったので、踊りの前に見学させていただきました。その部屋は、一人部屋とはいえとても狭く、息が詰まりそうな部屋でした。部屋の中にたくさんの千羽鶴が飾ってあったことも印象に残っています。また、他の場所に、小さな貝殻がたくさん付いた解剖台があり、驚きのあまり言葉が出て来ませんでした。それは長い年月、海の底に沈められていたそうです。「なぜ海の底に沈められていたのだろう」「これは何を解剖するために使われていたのだろう」と、いくつもの「なぜ」が、また私の頭の中を駆け巡りました。「いったい何があったのだろう。大人に聞いてみてもいいのだろうか。」当時の私は、「不思議」を溜めていくばかりでした。

見学後、浴衣の着付けが終わり外に出るとたくさんの人が阿波踊りを見ようと集まってくれていました。しかし、その人たちを見た私は、恐怖を感じてしまいました。顔や手足に後遺症のある、初めて見る姿に心が拒絶してしまったのです。踊るのも嫌だと思いました。しかし、踊り始めると、いつもの楽しい気持ちに戻りました。私たちの踊りを見ていた人達も、手を上げたり、声を出したり、いっぱいの笑顔で楽しんでくれました。私は自分が間違った考え方をしていたことに気づきました。

その後、中学生の時、総合学習の時間にハンセン病について学びました。誤った考えや知識、根拠のない恐れから、ハンセン病患者への差別が生じたこと。患者さん達が社会から疎外された状態で生涯を過ごすことを余儀なくされたこと。両親や兄弟からさえも、受け入れを拒否され、故郷を失われたことなど同じ日本で起こったこととは思いがたい事実に私は胸が張り裂けそうになりました。そしてやっと小学生の時に体験したことの、たくさんの「なぜ」が解消されました。自分たちの阿波踊りを喜んで見てくれたハンセン病回復者の方々は、長い間多くの偏見や差別に苦しんできた人たちだったのです。

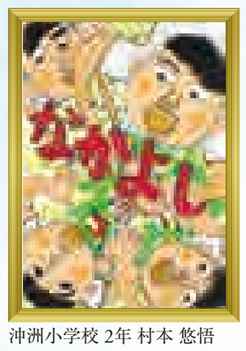
ハンセン病は、感染力がほとんどない病気だと分かってからも、「国の恥・恐ろしい病気」と言われ続け、患者の方々は教育も受けられず、子供をもつことすらも許されなかったそうです。近年の日本国内のハンセン病新規患者数は、年間で一人以内に抑制されていますが、ハンセン病患者に対する差別や偏見は今なお、残っているのが現状です。私も初めて大島青松園を訪れた時、恐怖を感じ、嫌だと思ってしまいました。そんな自分がとても情けないと思います。しかしそれは、ハンセン病について私が知らなかったことが原因でした。私は、ハンセン病の人々が、どう生きたのか、どういう状況だったのかを知り正しい知識を身につけ、誤った考え方の人たちに教えていくことが、今の自分にできることだと思います。そして、ハンセン病患者が苦しんだ歴史と日本の過ちを風化させず、後世に伝えるべきだと強く感じています。

最近父から聞いたのですが、大島青松園のお祭りで最後に上がる花火は、高齢になられたハンセン病回復者の方々が、「私たちが死んだ後、残ったお金で大きな打ち上げ花火をみんなに見せてあげてください。」と、譲っていただいたお金で打ち上げられていたそうです。私は、あの日見た、世界で一番他人のことを思いやった優しい花火を一生忘れないでしょう。



標語ポスター部門　知事賞

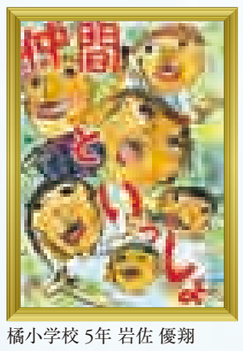
見能林小学校 1年 蔵田 彩香里



沖洲小学校 2年 村本 悠悟

知恵島小学校 3年 三浦 琉星

藍住南小学校 4年 十川 璃久



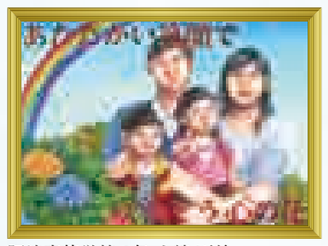
橘小学校 5年 岩佐 優翔

板野東小学校 6年 楠 萌加

阿南第二中学校 1年 清水 春菜

阿波中学校 2年 岩佐 桃花

城ノ内高等学校 2年 中矢 千尋



阿波高等学校 3年 山崎 百絵

作詩作曲作品部門　知事賞

届けよう

作詩作曲／名西高等学校
1年 村瀬 佳穂・2年 宮内 騎士

一人でも気持ちが揺らぐと
不協和音が生まれてくる
美しい旋律に変えて
僕たちだけの音楽を

みんなの音が集まって
一つの音楽に
同じ目標に向かって
さあ 君も 音を出して

届けよう 君の音を
それぞれの思い 絡めて 紡いで
呼吸を合わせて奏でよう
みんなのハーモニー

ぶつかり合って傷ついた心
一人で抱え込まないで
苦しいことも つらいことも
全部君を強くしてきた

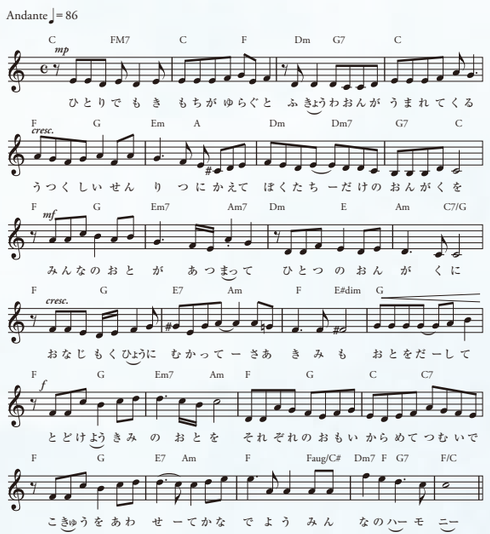
できないなんて言わないで
どうせ無理って言わないで
みんなと一緒なら
なんだってできるんだ

さあ 君も

届けよう 君の心
溶け合う倍音 響いて 鳴らして
はるか遠くまで流れてく
みんなのメロディー

届けよう 君の音を
それぞれの思い 絡めて 紡いで
呼吸を合わせて奏でよう
みんなのハーモニー

君だけのハーモニー



夢を描いて

作詩作曲／吉野川市立川島中学校 2年
坂本 瑞稀・七條 凜・髙木 百菜
田川 和香羽・藤井 亜姫

強く大きく1歩を踏み出そう
みんな支え合って生きている

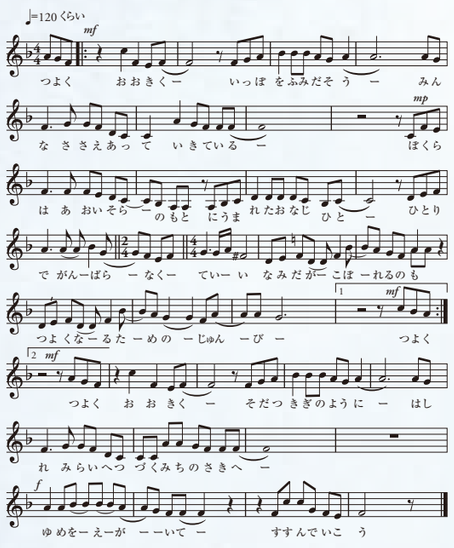
僕らは青い空の下に生まれた同じひと
一人で頑張らなくていい
涙がこぼれるのも　強くなるための準備

強く大きく1歩を踏み出そう
みんな支え合って生きている

僕らは丸い星で共に日々を生きている
一人で苦しまなくていい
笑顔になれないときも　光はそこにあるから

強く大きく育つ木々のように
走れ未来へ続く道の先へ

夢を描いて進んでいこう



教育長賞

【意見発表に係る作文】
鳴門市第二中学校 3年・森河 千夏／北島中学校 3年・米田 芽生／富岡東高等学校 1年・植原 彩乃／徳島商業高等学校 2年・谷崎 愛菜

【作詩作曲作品】
阿波中学校 2年・岩佐 優希実／福井中学校 3年生／城東高等学校 1年・舟本 鈴羽／阿南支援学校高等部・人権サークルさわやかクラブ

【標語ポスター】
応神小学校 1年・北原 虎汰郎／津乃峰小学校 1年・木下 楓涼／新野東小学校 1年・川原 紫菜／横瀬小学校 1年・市原 あかね／横瀬小学校 1年・中瀬 結奈／岩脇小学校 2年・樫本 蘭／上浦小学校 2年・小川 侑真／横瀬小学校 2年・柿原 翔太／黒崎小学校 3年・青木 柚莉／鳴門市第一小学校 3年・佐藤 颯介／下名小学校 3年・栗下 暖矢／八万小学校 4年・藤浦 百花／北小松島小学校 4年・赤堀 菜姫／津乃峰小学校 4年・石田 春妃／市場小学校 4年・美馬 花帆／神宅小学校 4年・三木 蓮／知恵島小学校 5年・三好 虹輝／松茂小学校 5年・酒井 日向／太田小学校 5年・藤本 せり／桑島小学校 6年・福島 亜美／新野東小学校 6年・吉岡 凌汰／上浦小学校 6年・中野 真優／上浦小学校 6年・淀 優星／三島小学校 6年・川人 彩奈／椿町中学校 2年・坂崎 さくら／富田中学校 3年・福島 彩／阿波中学校 3年・逢坂 美空／阿波中学校 3年・新居 典華／阿波中学校 3年・福原 愛彩／板野中学校 3年・近藤 未菜里／三好中学校 3年・松本 夏実／徳島聴覚支援学校中学部 3年・巴 優菜／脇町高等学校 1年・坂本 百霞／脇町高等学校 1年・田處 優花／脇町高等学校 1年・深田 菜央香／富岡東高等学校 2年・森本 梨心／阿波高等学校 3年・七條 菜摘／板野支援学校高等部 3年・木内 樹

理事長賞

【意見発表に係る作文】
城ノ内中学校 1年・北原 花音／相生中学校 1年・松本 千紘／三野中学校 3年・藤本 鈴子／富岡東高等学校 1年・佐藤 圭悟／富岡東高等学校 2年・須見 杏菜／海部高等学校 2年・池田 冬那

【作詩作曲作品】
城東高等学校 1年・梅田 春希／城東高等学校 1年・小川 浩輝／富岡東高等学校 1年・濵渦 美緒

【標語ポスター】
入田小学校 1年・高橋 央暉／鳴門東小学校 1年・峯 蛍乃美／山瀬小学校 1年・谷 咲来／広野小学校 1年・仁志 政翔／板野西小学校 1年・大西 泰誠／東光小学校 1年・吉岡 花菜／三庄小学校 1年・吉村 茉姫／佐古小学校 2年・松岡 壱晴／土成小学校 2年・平島 暖大／市場小学校 2年・河野 智葉／林小学校 2年・篠原 莉音／美馬小学校 2年・戸島 銀時／王地小学校 2年・大西 彩愛／神領小学校 2年・眞鍋 一生／相生小学校 2年・村田 夏海／鳴門市第一小学校 3年・石田 晴菜／王地小学校 3年・佐賀 山明未／箸蔵小学校 3年・近藤 亜柚／横瀬小学校 3年・湯浅 逢李／高川原小学校 3年・梅久 真翠／三庄小学校 3年・高橋 野乃佳／加茂名小学校 4年・美野 優翔／白地小学校 4年・松下 まみ／生比奈小学校 4年・田中 花奈／横瀬小学校 4年・松本 結衣／上勝小学校 4年・下岡 芽生／相生小学校 4年・儀宝 紗代／太田小学校 4年・大島 千李／三庄小学校 4年・宇山 香帆／和田島小学校 5年・滝根 さくら／見能林小学校 5年・阿部 一心／津乃峰小学校 5年・玉田 結理／橘小学校 5年・松田 萌禾／橘小学校 5年・吉岡 彩花／知恵島小学校 5年・河野 泰士／脇町小学校 5年・北條 羽暖／穴吹小学校 5年・谷 依津希／海部小学校 5年・坂本 瑠樹／加茂名小学校 6年・小川 明莉／大松小学校 6年・大塚 芯美／岩脇小学校 6年・姥木 亜美／山瀬小学校 6年・後藤田 正之／美馬小学校 6年・千葉 心和／芝生小学校 6年・浦川 真衣奈／阿南第一中学校 1年・西野 晴香／石井中学校 1年・山根 百香／神山中学校 1年・清水 菜々夏／城ノ内中学校 2年・長岡 芽生／阿南第二中学校 2年・桂木 悠／上板中学校 2年・四宮 陽菜／三加茂中学校 2年・山岡 泰良／城西中学校 3年・渡邊 加奈／鳴門市第二中学校 3年・田渕 杏生／羽ノ浦中学校 3年・大橋 歩実／吉野川市立川島中学校 3年・片山 珠希／石井中学校 3年・遠藤 梓／石井中学校 3年・継岡 美怜／鷲敷中学校 3年・北谷 亜香里／上板中学校 3年・松本 瑞季／城東高等学校 1年・岡本 紗矢香／城東高等学校 1年・北川 実蘭／富岡東高等学校 1年・西川 ナナ／富岡東高等学校 1年・吉村 紗恵／富岡東高等学校 1年・米本 千尋／海部高等学校 1年・鶴木 彩乃／海部高等学校 1年・鳥澤 里帆／国府支援学校高等部 1年・横田 早苗／みなと高等学園 1年・福島 知温／城北高等学校 2年・高橋 胡桃／阿波高等学校 3年・河野 真奈／阿波高等学校 3年・三木 毬菜／阿南支援学校高等部 3年・江崎 悠里／阿南支援学校高等部 3年・佐野 光希／阿南支援学校ひわさ分校高等部 3年・中村 悠人

気軽に利用できるみんなのあいぽーと徳島です　あいぽーと徳島　徳島県立人権教育啓発推進センター　770-0873 徳島市東沖洲2丁目14 沖洲マリンターミナルビル内tel.088-664-3719 fax.088-664-3727 http://www.aiport.jp
開館：午前10時から午後6時まで
休館：毎週月曜日（祝日の場合はその翌日）と年末年始